聖徳大学・聖徳大学短期大学部　ビジネス・フィールド・リンケージ®
第3号（2025年11月6日発行）

「聖徳BFL副専攻プログラム」の魅力を伝える

BFLゼミ通信

01 第6回「BFLオープンセミナー」レポート

心理学科２年の大西美々です。 ９月27日(土)開催のBFLセミナー『 ChatGPTを使って誰でもできるWebサイトアプリ作成を学ぼう』は、プログラミングやウェブテクノロジーの知識がほぼゼロの私でも楽しむことができるセミナーでした。

今回の講師は、TechKidz Academy代表でプログラミング教育コンテンツの開発者である熊谷基継先生でした。本学でも『ビジネス・データサイエンス Ⅱ』『 ビジネス・データサイエンス Ⅲ』の授業を担当されています。

今回のセミナーの流れとしては、最初にAIの現状とこれからの話。さらに、今回使用するChatGPT以外のAIについての紹介がありました。その後、実際に自分たちでAIにhtmlのプログラムを書かせる作業を行いました。AIの現状についての話では、今はAIの第四次ブームであり、人工知能が人間を超えるという時代も近いという話や、簡単なAIの歴史の話、動画を見ながらどんなことができるのかの紹介もありました。また、自分たちで実際にAIに指示出しをするときに、どうしても文章が堅苦しいものになりがちで、その結果、よく分からない回答が返されやすいそうです。「人に説明するときと同じ」というアドバイスに納得しました。「指示する側が上手く話さなければAIもついてこない」と聞き、気をつけようと思いました。セミナー参加者の感想には、「思った以上に簡単にアプリを作ることができて驚いた」「楽しかった」といった声が多く見られました。また、「ChatGPTを効率よく使えるようになりたい」との感想は、私の思いと共通するものでした。

使い方次第で自らの学びに役立てたり、今回のようにアプリ開発をしたりと、さまざまな利用法があることが分かり、そうした使い方の一端を体験することができ、セミナーを受けてよかったと思います。





02 第7回「BFLオープンセミナー」レポート

心理学科２年の川上心音です。10 月 18 日（土）開催の BFL セミナー『生成 AI の基礎知識、活用法、注意点を知ろう』は、生成 AI について知識がほとんどない状態でも、分かりやすく学ぶことができるセミナーでした。

今回の講師は、BFL副専攻科目の『ビジネス・フィールド・リンケージ原論』『顧客価値を創造するマーケティング』『戦略的ビジネスマネジメント』『SDGs を実現する GX＆SX の基本』を担当している浅岡伴夫先生で、『BFL 近未来創造ゼミ』の担当教員でもあります。

今回のセミナーでは、生成 AI の概要や活用事例、利便性の中に潜む危険などについて解説していただきました。

特に印象に残っているのは、浅岡先生のオススメの活用方法として、「壁打ち」をご教示いただいたことです。ここで言う壁打ちとは、自分のアイデアを生成 AI にぶつけることで自分の考えの軌道修正や新たな価値創造のヒントを得られるという生成 AI の使い方です。この使い方は実際に人と話すわけではないので、特に気を使う必要がありません。そのため思考の整理が苦手な私にとって、一人で考えを整理したい時などに良い活用方法だと感じました。



特別企画　BFL副専攻科目履修者インタビュー

秋学期に開講しているBFL副専攻科目の中から3つの科目をピックアップして、その授業を履修しているゼミ生に、授業の内容や様子、これからの授業への期待などについて話を聞きました。

ちなみに、インタビューをしているのもゼミ生です。



03 『ビジネス・データサイエンス III 』(熊谷基継先生)

履修者インタビュー＜大西美々⇔三好渚彩＞

どんな授業ですか？

ChatGPT と Google Apps Script （Google が提供するアプリケーション開発プラットフォーム）を使ってプログラミングをする授業です。到達目標は、ChatGPT を活用して受講者ひとり一人が自分で企画した Web アプリを作成することにあります 。

授業の面白いところ、興味深いところはなんですか？

実際に自分でどんなアプリが作りたいかを考える（企画する）ところと、自分が ChatGPTにどんな指示（プロンプト）を出すとどんなアプリ（プログラム）が出来るかチェックし、修正指示を繰り返しながら、 思ったようなアプリが出来上がっていくプロセスを体験できるところです。このスキルは、社会に出てから必ず活かせると思います 。

授業の中で難しいことはなんですか？

変数の使い方を間違えてエラーが出てしまうことです。

熊谷先生の魅力はなんですか？

難しい内容なのに説明がていねいでわかりやすいところと、学生の反応を見ながら授業進行をしてくれるところです。 一見怖そうに見えますが、 実は気さくで優しい先生だと思います。

04 『SDGsを実現するGX＆SXの基本』（浅岡伴夫先生）

履修者インタビュー＜ 寺田ゆり⇔富田佳音 ＞





そもそも GX と SX とはなんですか？

GX（グリーントランスフォーメーション）とは、地球環境、社会環境、生活環境、ビジネス環境などを今より健全な方向に変容させる活動全般を指し、SX（サステナビリティトランスフォーメーション）は正しい方法で企業を長続きさせることを指します。





では、SDGs との関係は？

SDGs は国連のサミット会議で定められた「持続可能な開発目標」のことですが、GX と SX は企業や団体が SDGs の開発目標を具体的な実現方策に落とし込んで実行することで成果を出す活動を指します。つまり、GX と SX は SDGs の実現手段なのです！





先生のイメージは？

浅岡先生はパワフルで優しい方です！難しい話も身近な事例を示しながら分かりやすい形で説明してくれます！





この授業で得られる恩恵や学びは？

ビジネス社会に求められる GX・SX・SDGs について学ぶことにより、企業や団体が求める人材になれることです。また、個人的にはなりますが、私自身の視野が広くなった気がします。





どんな授業ですか？

授業の形態としては、オンライン形式の講義（２～３回は対面授業）と毎回の授業小レポートになります（試験や期末レポートはありません）。毎回小レポートを書くことで、講義の内容や自分の考えが整理でき、より理解が深まります。





最後に何かありますか？

難しいことも多いけど、質問にその都度答えてくれるので理解できる、素晴らしい授業です！



05 『Web テクノロジーの基礎と応用』(川口泰司先生)

履修者インタビュー<渡邉美優⇔鴻丸夏海>





なぜこの授業を受講しようと思ったのですか？

BFL では、「ビジネス・データ・サイエンス」を主に受講しており、Web やコンピュータに関することに興味がありました。また、春学期に受講したビジネス・データ・サイエンスⅢでの学びをより深めたいという思いもありました。





この授業で学び、興味深いと感じていること、役立っていること等についてお聞かせください。

まだ数回の受講ですが、先生の噛み砕いた説明が印象的です。例えば郵便配達やレストラン等私たちの身近なもので例えてくださるので分かりやすいです。特に郵便配達の例では、データが自分の手元に届くシステムを知ることができ、ローディング状態にある時はどんなことが起こっているかを理解することができて興味深いと感じました。





今後の授業に期待すること等について聞かせてください。

今後も Web テクノロジーの基礎を学ぶ楽しみがあります。それに加えて、この授業は高大連携として高校生も何名か受講しています。
今後、グループワーク等があるのであれば、高校生視点の意見も出てくると思われます。そうした、「自分とは異なる価値観」の発見にも期待しています。



● 今後のBFLセミナー

開催日時	セミナータイトル	ゲスト講師	講師プロフィール
11月29日（土４限）	人間社会・地球環境を良くする製品・サービスについて知ろう	中松正樹 先生	日本経済新聞社を経て、現在はフリーランスのニュースウオッチャー

「BFLゼミ通信」第3号
発行日：2025年11月6日
発行元：「BFL近未来創造ゼミ」
発行人：石井 清人
編集担当：「BFL近未来創造ゼミ」BFL通信制作チーム、石井清人、浅岡伴夫
原稿執筆：渡邉美優、大西美々、寺田 ゆり、川上心音
質問回答：鴻丸夏海、三好渚彩、富田 佳暖
レイアウト：イスラムアフサナジャナット、渡邉花枝、木下美空和、水野百香ミラグロス、岡田瑠衣